

SCIENCE

SDGs みんなでつくる、
みんなの目標！
169 TARGETS 2030年の世界を
君の言葉が変える！

アイコン日本版 ●制作プロジェクト

169ターゲットの日本語コピーを作ろう！

投票の結果、応募する標語が決まりました。

- 7.1 僕らの未来は 僕らの手で 37 票
- 7.2 この世界のエネルギーもミックス 世界のことともミックス 80 票
- 7.3 エネルギー むだなく使おう 世界のために 73 票
- 7.a タピったる！映えた後はリサイクル その行動がエモいのよ 76 票
- 14.1 「たかが」ポイ捨て「たかが」で海は汚れる「たかが」を減らそう 24 票
- 14.2 あなたや魚の命はひとつ 守り合おう 海のよろこび 24 票
- 14.3 澄んだ海 守るためのゴミ0(ゼロ)宣言 57 票
- 14.4 魚のハートにズッキュン 33 票
- 14.5 みんなで守ろう みんなの海 55 票
- 14.6 魚は 人生のお供 75 票
- 14.7 離れていても みんなで仲良く みんなで協力 43 票
- 14.b 伝統を 守り繋いで 海守る 40 票
- 14.c アラーム出してる海の声 みんなで変えよう海の音 111 票

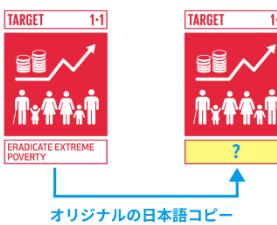
結果発表は来年の3月です。私たちの標語が選ばれるといいですね。

さて、先日の朝日新聞にこのような記事がありました。

追手門学院大手前中・高校(大阪市中央区)のロボットサイエンス部の研究が、情報処理学会関西支部大会で受賞した。盲導犬ロボットとプログラミング教材がともにジュニア会員特別賞に選ばれた。盲導犬ロボには「あいドッグ」の愛称をつけた。盲導犬が不足していると知り、根岸さんらが昨年度から開発を始めた。タイヤや重心の位置を改良し、5センチの段差も上がれるようになった。障害物を回避する超音波センサーや信号の色を認識するAIカメラを取り入れ、頭をなでると「ワンワン」とほえる機能もある。

持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにした高校生4人のチームは、7月にインド洋の島国モーリシャス沖で座礁した船からの重油流出に注目し、重油回収ロボットを製作中だ。船尾につないだ水車が回転すると重油を含んだ海水が水槽に入る。水槽には納豆のネバネバ成分として知られるポリグルタミン酸を使った水質浄化剤を入れてあり、汚れた部分を集めて固める。学生は「環境保全につなげるロボットを考えた。今後、ビニールプールにごま油を浮かべて回収できるか実験します」と話す。12月にある中高生向けの学会にも参加する予定だ。ほかのチームは、画像処理で自動的に分別する万能ごみ箱、災害時にふくらんで浮かぶ防災リュックなどの開発を目指している。

2020年11月23日 朝日新聞デジタル



ID	Title	Description
1	1.1 僕らの未来は 僕らの手で	この世界のエネルギーもミックス 世界のことともミックス
2	14.1 「たかが」ポイ捨て「たかが」で海は汚れる「たかが」を減らそう	あなたや魚の命はひとつ 守り合おう 海のよろこび
3	14.2 あなたや魚の命はひとつ 守り合おう 海のよろこび	澄んだ海 守るためのゴミ0(ゼロ)宣言
4	14.3 みんなで守ろう みんなの海	魚のハートにズッキュン
5	14.4 魚は 人生のお供	みんなで守ろう みんなの海
6	14.5 みんなで守ろう みんなの海	魚は 人生のお供
7	14.6 離れていても みんなで仲良く みんなで協力	離れていても みんなで仲良く みんなで協力
8	14.7 伝統を 守り繋いで 海守る	伝統を 守り繋いで 海守る
9	14.c アラーム出してる海の声 みんなで変えよう海の音	アラーム出してる海の声 みんなで変えよう海の音
10	14.1 「たかが」ポイ捨て「たかが」で海は汚れる「たかが」を減らそう	「たかが」ポイ捨て「たかが」で海は汚れる「たかが」を減らそう
11	14.2 あなたや魚の命はひとつ 守り合おう 海のよろこび	あなたや魚の命はひとつ 守り合おう 海のよろこび
12	14.3 澄んだ海 守るためのゴミ0(ゼロ)宣言	澄んだ海 守るためのゴミ0(ゼロ)宣言
13	14.4 魚のハートにズッキュン	魚のハートにズッキュン
14	14.5 みんなで守ろう みんなの海	みんなで守ろう みんなの海
15	14.6 魚は 人生のお供	魚は 人生のお供
16	14.7 離れていても みんなで仲良く みんなで協力	離れていても みんなで仲良く みんなで協力
17	14.8 伝統を 守り繋いで 海守る	伝統を 守り繋いで 海守る
18	14.c アラーム出してる海の声 みんなで変えよう海の音	アラーム出してる海の声 みんなで変えよう海の音

みんなの投稿状況を見る →
トップページへ戻る

近くにいる同世代が、より現実的に、SDGsをめざして取り組んでいます。今は日々の授業でさまざまな知識を習得している段階ですが、近い将来、私たちも、何か自分たちでできることを探していきたいですね。